

「出題の意図」

選抜区分	2025年度（選抜区分：総合型選抜） 外国語学部 国際関係学科（科目名：1次選考小論文、2次選考集団討論・面接）
出題の意図 （評価のポイント）	1次選考（小論文） ロシアによるウクライナ侵攻、ガザにおけるイスラエルとハマス間での紛争に対しては、それぞれロシアとアメリカ合衆国が大きく関与しているため、国際連合安全保障理事会（以下、安保理）による解決が難しい状況にある。今回の総合型選抜では、国際関係学科での学びを希望する受験生に対して、最低限知っておくべき国際関係の基礎知識を問うこととした。課題文で問われている安保理の役割と機能、具体的事例の例示、そして安保理の有効性についての評価という3点を踏まえたうえで、それらがきちんと論理的かつ整合性をもって述べられているかどうかを重視した。また、誤字脱字についてもマイナス評価の対象とした。 2次選考（集団討論） 集団討論では1次選考の延長線上として、安保理における拒否権の問題を取り上げ、廃止すべきかどうかについて討論してもらった。評価の際には、グループ内での討論が結論に至るまでのプロセスを重視し、そこで自分の主張を明確に他者に伝えること、他者の意見に耳を傾け的確に応答すること、さらに意見をまとめることの3点を確認するとともに、グループ内での討論において、どのような貢献を行ったのかを評価した。 2次選考（個人面接） 全員に対して、集団討論の振り返り、志望動機、入学後の学びの見通しとその準備状況について尋ねた。また、国際関係学科で学ぶ意欲、学科への適正について確認するとともに、学科で学ぶことと自身の将来計画について尋ねた。これらを総合的に判断して評価を行った。